

ANDK

かわら版

Vol.16

平成23年12月発行

愛知県
農業土木
測量設計
技術研究会

九月十三日(火)に愛知県土地改良会館大会議室において、勉強会を開催しました。農業土木技術者としての広範な知識の習得に努める事を目的に、「カゴメの生鮮野菜事業について」と「花きにおける省エネルギー栽培」の講演内容でした。

加工トマトから、消費者が旨いと言われる生鮮トマトの販売までの企業としての取組みの紹介と、最新技術のLEDを利用した、省エネ栽培技術の研究状況の紹介でした。

食の安全と安心及び省エネルギーについて、再確認する内容に、約百十名の方々のご参加をいただきました。

「カゴメの生鮮野菜事業について」
カゴメ株式会社 コンシューマー
事業本部 生鮮野菜事業部
畔柳 浩 執行役員
「花きにおける省エネルギー栽培」
愛知県農業総合試験場
園芸研究部総括研究員
平野 哲司 総括研究員



畔柳 浩 氏



平野 哲司 氏



勉強会会場

碑文が語る
愛知の土地改良

「入鹿池再築の碑」

場所 犬山市大字篠平
寸法 H 1,950×B 1,300 (mm)
建設 明治 16年 11月
碑文 文 山田内務郷豪額
書 葦原眉山

入鹿池は、尾張藩主徳川義直が寛永 10 年(1633)に完成させた、江戸期最大の人造湖で、尾張北東部の未開の原野開発に途を拓いた。明治元年、河内屋堤が決壊し、流没田畑 8,400ha に及ぶ大災害が発生したが、災害復旧工事は明治 15 年に完成し現在に至る。。

平成 23 年度 技術研修会

Part. 2 開催

十月二十七日(水)に愛知県土地改良会館大会議室において、技術研修会を開催しました。農業土木技術者として、自然生態系基礎技術の習得と、東日本大震災への取組みについて、「カメから見たため池や水田の生態系の重要性と変化」と「東日本大震災により被災した農地・農業用施設の災害復旧の状況と今後」についての講演でした。

「カメから見たため池や水田の生態系の変化」

愛知学泉大学 現代マネジメント学部
矢部 隆 教授

「東日本大震災により被災した農地・農業用施設の災害復旧」

愛知県農林水産部 農林検査課
富田 隆広 主任専門員



ニホンイシガメ



アカミミガメ



矢部 隆 氏



研修会会場

